

地方自治体の総合計画における 図書館の記述

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究科
情報学学位プログラム博士後期課程

佐藤 聡子

地方分権改革と公立図書館

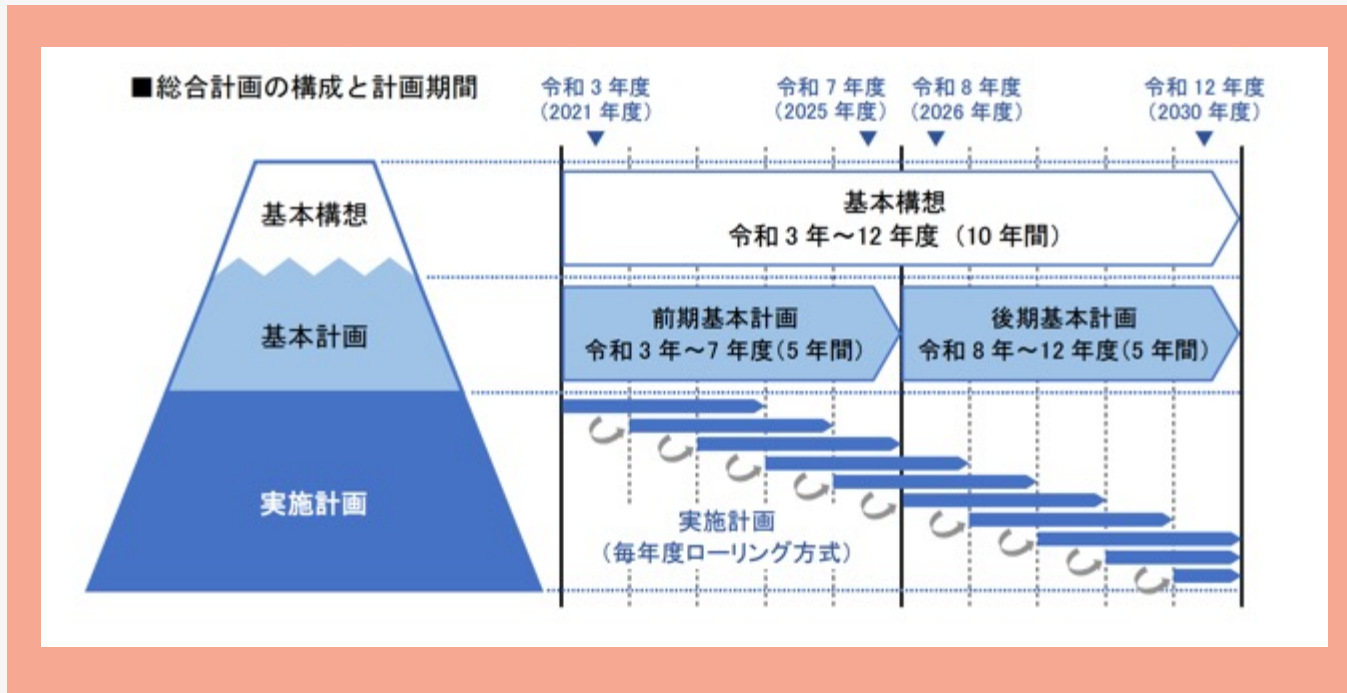
- 新たな運営手法や予算編成や執行のあり方が議論
 - 指定管理者制度など
- 新たな街づくりの重点施策として図書館拡充を進める自治体も
- 現在の図書館のあり方は自治体の政策や戦略に応えうるものなのか
- 自治体は図書館に現在どのような機能・役割を期待しているのか

自治体の策定する「総合計画」の分析



- 自治体が図書館に期待する機能・役割を明らかにすることを試みる
- 本研究における総合計画
 - 自治体の計画における最上位の計画
 - 基本構想の策定義務撤廃を経て議会の議決により策定
 - ▶ 構成内に基本構想を含む自治体の最上位の計画として定義

総合計画の構成と意義



- 基本構想・基本計画を含むことが多い
 - 本研究でも全ての総合計画に基本構想と基本計画が含まれる
 - 「総合計画は総花的になる」という批判もある
 - 先行研究から…
 - 「総合計画が自治体政策の根幹である」
 - 「総合計画に記載されない政策は基本的に実行されない」
- ▶ 本研究では総合計画を採用

自治体の考える図書館の機能・役割を明らかにした研究

- 公立図書館の設置根拠となる条例の記述の分析
- 中心市街地活性化計画における図書館の記述の分析

▶ まちづくりへの貢献が期待されていることが示唆

これまで考えられてきた図書館の機能・役割とは異なった、新たな機能・役割である可能性

▶ 本研究では最上位に位置づけられる「総合計画」本文の直接的な分析

研究目的

- 日本の地方自治体が図書館にどのような機能・役割を求めているか
自治体の策定する「総合計画」の分析を通して明らかにする
 - 01 | 図書館は総合計画に記述されているか
 - 02 | 多くの自治体で期待されている
図書館の機能・役割は何か
 - 03 | 機能・役割に特徴ある記述はあるか

調査対象資料（総合計画）の収集

町村数932



図書館設置町村539

無作為抽出で30団体

- 今後市を含む総合計画における図書館の記述を明らかにする
 - 図書館設置町村から調査を開始
- 自治体と総合計画はWeb 上で自治体のホームページを探索し収集
 - 資料名は殆どが「総合計画」だが一部「振興計画」となっているものも有り

総合計画の構成



第10次 大津市総合計画

目次

第1章 はじめに	
1. 計画策定の必要性	1
2. 計画の構成と位置づけ	2
3. 計画の期間	2
第2章 本町を取り巻く社会・経済情勢	
1. 現状認識と対応に向けた基本的な考え方	3
2. まちづくりのキーワード	5
3. まちづくりの指針	5
第3章 基本構想	
1. 町の将来像	6
2. 基本理念	7
3. 基本目標	7
4. 行政の運営方針	8
第4章 基本計画	
1. 「0」と歴史を紡ぎ 未来を拓く「まちびと」づくりの展開	9
(1) 起源・出現・子育てに誇りを持てる「まちびと」づくり	
(2) 先人を尊び みることを愛し 地域を支える「まちびと」づくり	
(3) 自ら学び行動する 住み力のある「まちびと」の育成	
(4) 多様な社会に満ちた 元気で未来に夢をたく「まちびと」づくり	
2. 「くらし」豊かに暮らしたいと願える、安心な「くらし」と豊かな地域社会の実現	10
(1) 安全・安心を実現できる社会の実現	
(2) 医療・医療・福祉の連携による健康寿命社会の実現	
(3) 豊かな自然と環境を守る持続可能なまちづくりの推進	
(4) 未来に向けた活力の創出と元氣源の育成	
3. 「しごと」次世代につながる大津町らしい「宝庫」の創出と強化的実現	11
(1) 地域産業の働き上げと後継者対策の推進	
(2) 多様な世代の活躍と第二創業の推進	
(3) 自然・食・観光・人を活かした交流産業の推進	
(4) 「みることで驚きたい」の実現	
資料編	13

- 基本構想の次に基本計画が記述される
- 基本構想では政策の大きな方針が示される
- 基本計画では基本構想に基づき各政策の方針や具体的な施策が示される

政策のカテゴリと図書館の記述

カテゴリ

第3章 文化の薫るまち【教育・文化・スポーツ】

3-2 心豊かな生涯学習の推進 〈生涯学習・青少年育成〉
好奇心を持ちながら生涯学び続け、地域の中で充実した生活や活動を行うことを目的とします

■現状と課題

生涯学習は、人々が生涯にわたり主体的に続ける学習活動のことです。趣味や娯楽の他、ライフワークとして新しいものを学び続けたり、ボランティアとして地域に貢献したりすることは、豊かで充実した人生を送ることにつながっています。

また、新たなスキルや知識を身につけることで、キャリアアップや転職に有利になる、人生100年時代の中で第二の人生を歩みやすくなるといったメリットもあります。

■目標（指標）

指標名	現状値 (計画年度末)	目標値 (H31)	指標の説明
「生涯学習活動の機会や場が充実している」と回答する市民の割合	42%	50%以上	市民意識調査
「図書館が便利で使いやすい」と回答する市民の割合	37%	50%以上	市民意識調査
学校応援ボランティア参加人数	738人	800人	延べ人数
全中学生数に占めるボランティア登録者の割合	51.7% (R1)	60.0%	—
「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」と回答する市民の割合	63%	70%以上	市民意識調査

■施策の方向（主な取組）

(1) 生涯学習の推進

①生涯学習の推進
町教育委員会の基本的な方針である「小山町教育振興基本計画」の基、生涯学習の推進を図ります。

②生涯学習と社会教育が盛んなまちづくり
生涯学習センターを拠点として生涯学習推進体制を確立し、生涯学習と社会教育が盛んなまちづくりに取り組めます。

図書館の記述

(2) 学習機会の提供

①学習機会の提供
各種趣味教室、講座会、体験学習の充実など学習機会の提供を促進します。

②学習成果発表の場の充実
生涯学習関連団体の連携を推進するとともに、町民文化祭、生涯学習フェスティバルなど、様々な場を活用した学習成果発表の場を充実します。

③総合文化会館の機能の充実

(3) 図書館サービス機能の充実

①読書活動の推進
小山町子ども読書活動推進計画に基づいた事業を推進します。

②利用しやすい図書館づくり
利用しやすく、地域や町民に役に立つ図書館づくりを推進します。

③地域資料の充実
「小山町史」、「小山町史資料所在目録」などの歴史資料の有効活用と地域資料の充実を図ります。

④読書人口の拡大
ブックスタートやセカンドブック事業など、幼少期から読書に触れ合う機会の提供及び充実を図り、読書人口の拡大に努めます。

(4) 人材の活用・育成

①学校応援ボランティアの育成
地域に暮らす方が学校活動をお手伝いする学校応援ボランティアの育成や確保を進めます。

②各種活動の支援
各種文化団体、サークルなどの活動の支援や育成を行います。

③各種団体との交流
姉妹都市等との交流において、文化・スポーツ団体等を中心に様々な交流を推進します。

(5) 生涯学習環境の充実

①生涯学習環境の充実
学びの場である生涯学習施設の効果的な修繕や整備を進めるとともに、多様な学習の場としての施設の活用を促進します。

(6) 情報提供と町民ニーズの反映

①生涯学習情報の提供
町のホームページの活用や情報紙の発行などにより、生涯学習情報の収集と提供を充実します。

②町民ニーズの反映
定期的なアンケート調査を行うなど、町民ニーズを反映できるよう努めます。

- カテゴリごとに方針が示される
- 政策をどうカテゴリライズするかは自治体の方針による
- 図書館の記述はMAXQDAにインポート後キーワード検索

図書館の記述の抽出とコードの付与

01 構成

総合計画の構成上の
どこかを示す記述

02 カテゴリ

総合計画内の施策の
うちの施策に属し
ているか示す記述

03 図書館の記述

図書館について言及して
いる記述そのもの

図書館の記述の抽出とコードの付与

01 構成

総合計画の構成上の
どこかを示す記述

02 カテゴリ

総合計画内の施策の
うちの施策に属し
ているか示す記述

03 図書館の記述

図書館について言及して
いる記述そのもの

KHCoder を使用したテキストマイニング

- ・ 頻出語の分析
- ・ カテゴリの違いを外部変数とした特徴語の分析

MAXQDAを使用した内容分析

- ・ 記述の抽出とコードの付与
- ・ コードのカテゴリ化
- ・ 記述そのものの分析

結果

01 構成

- 総合計画における図書館の記述の有無
- 図書館の記述がみられる構成

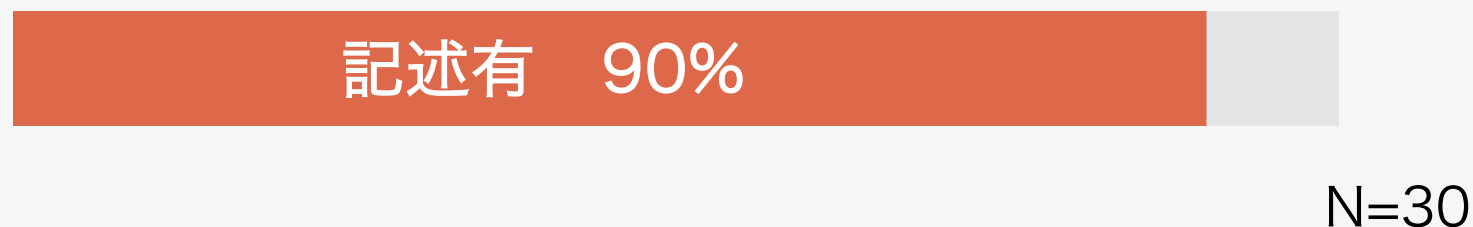
02 カテゴリ

- 図書館の記述のカテゴリ
- カテゴリの違いによる図書館の記述の特徴

03 図書館の記述

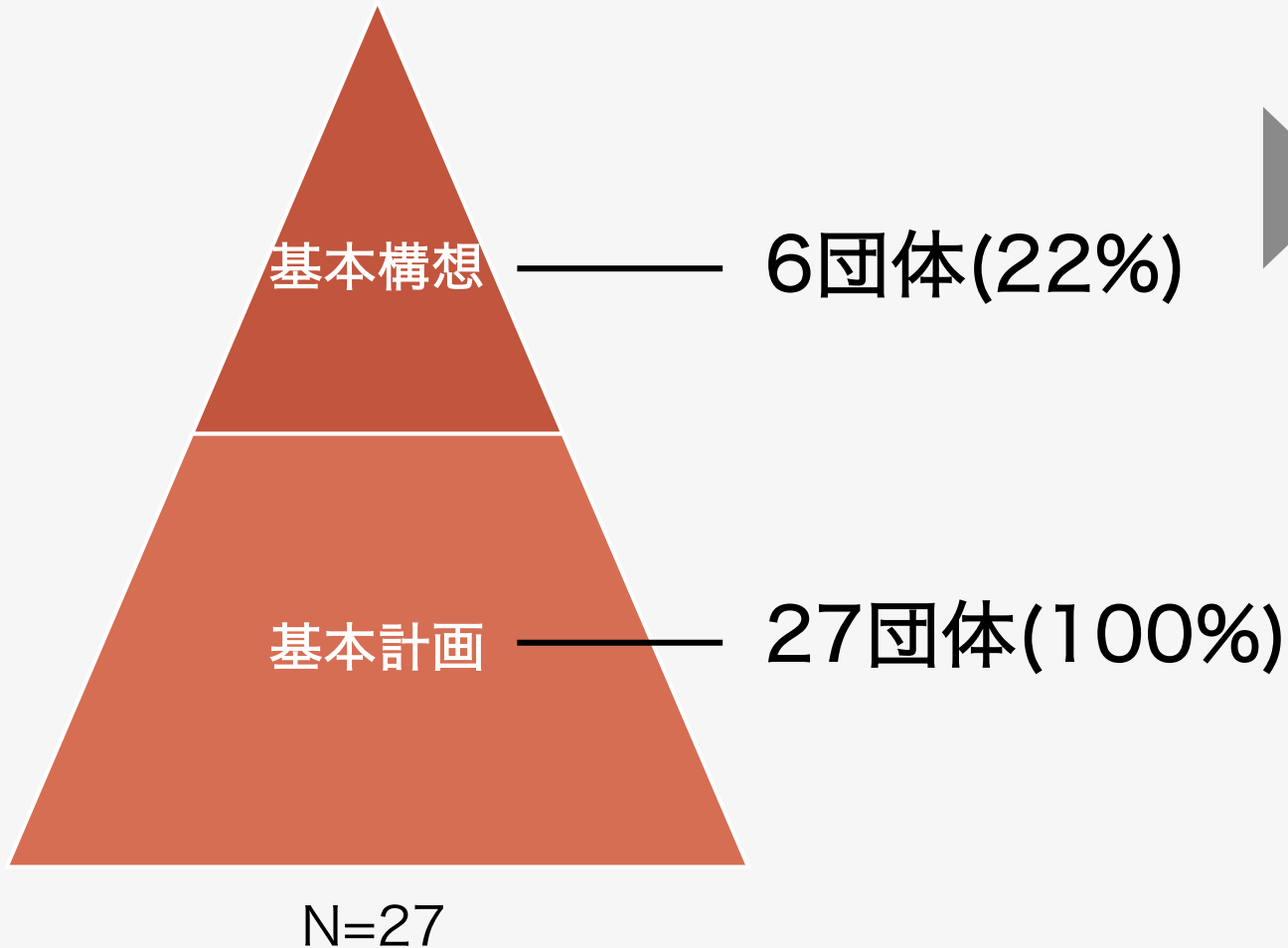
- 図書館の記述のある文章の特徴（頻出語）
- 機能・役割に特徴ある記述

総合計画における図書館の記述の有無



- 30団体中27団体(90%)が総合計画に図書館の記述がある
- 図書館の記述に付与したコードは565 件

図書館の記述がみられる構成



基本構想の図書館の記述

- 生涯学習に重点を置いたまちづくりを行うことが記述される中で図書館に言及
- 新図書館の整備に言及

基本構想の図書館の記述例

第2部 基本構想

25

3 健康寿命を延伸し、高齢となっても住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、生涯を通じて自主的な健康づくりとフレイル予防の支援を行うとともに、高齢者に対する保健事業と介護予防を一体的に実施し、介護・福祉サービスを必要とする人が必要なサービスを受けられる体制を整備します。

3 文化の薫るまち【教育・文化・スポーツ】

1 子どもの生きる力を育むため、学校、家庭、地域が連携し、豊かな学力を身につける教育、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進します。また、子どもの生活習慣の習得を図るため、幼児教育の充実や家庭教育の支援に取り組むとともに、子育てに係る保護者への相談体制の充実を図ります。

2 すべての町民が生涯にわたって、心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、生涯学習の機会と環境の充実を図るとともに、各種団体の活動支援や人材育成に努めます。また、便利で使いやすい図書館運営を目指し、読書人口の拡大に努めます。さらに、様々な活動や交流を通じ、次世代を担う健全な青少年の育成に取り組みます。

3 町民が文化芸術に親しみ、地域への誇りや愛着を持てるよう、鑑賞・体験・発表機会の提供と充実を図るとともに、各地域で行う文化活動を支援するほか、町内の貴重な文化財の保全・活用にも努めます。また、小山町文化芸術振興条例に基づき、文化芸術を身近に感じるまちづくりを行います。

4 町民が運動習慣を身に付け、心身ともに健康になり、さらにスポーツ・レクリエーション活動が地域の一体感や活力の向上につながっていくことを目指し、小山町スポーツ振興条例に基づき、誰でも気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境づくりを進めます。また、選手・団体、指導者の育成など、スポーツを支える活動を支援します。

5 姉妹都市、観光友好都市、災害時相互応援協定を締結した自治体との地域間交流を推進します。また、国際姉妹都市を中心とする行政間交流や中高生等のホームステイ等を通じ、国際交流の推進とグローバル人材の育成を図ります。これらの取組を通じて相互理解を深め、子どもの文化意識の高揚や国際交流人口の拡大につなげます。

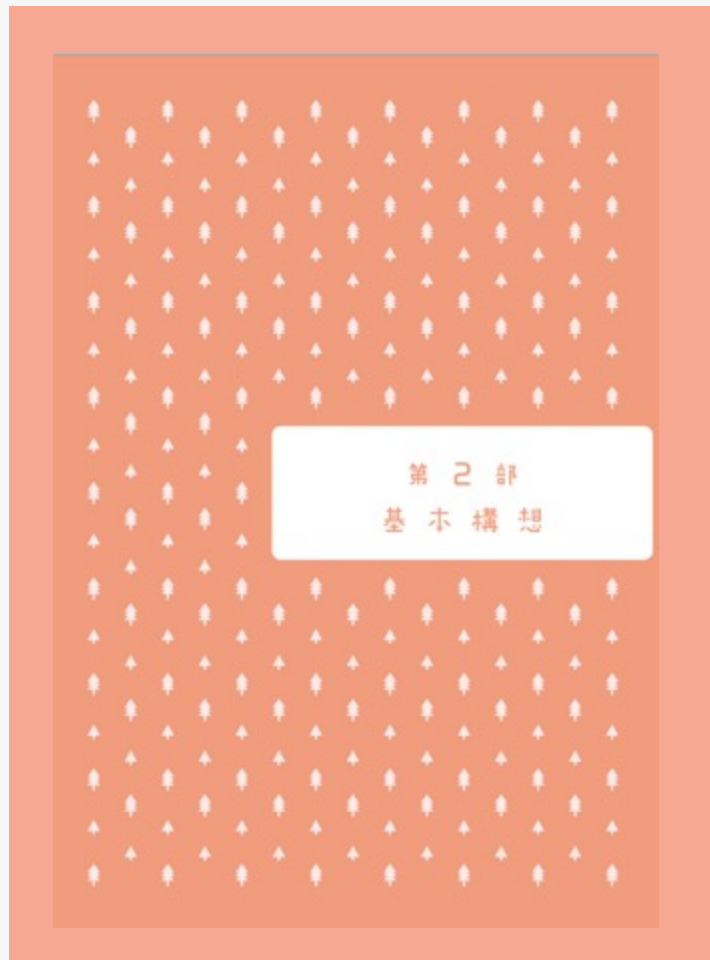
4 活力あふれるまち【産業・経済】

1 静岡県が進める「ふじのくに」のフロンティアを拓く取組に位置付けられた「三美拠点事業」を推進し、産業の集積や優良な居住環境の確保を図り、雇用の場の創出や振興の取り組みを進めることで、定住人口の拡大にも努めます。また、優良企業や情報産業ビジネスの誘致及びファルマバレープロジェクトを推進します。

25

便利で使いやすい図書館運営を目指し
読書人口の拡大に努めます

基本構想の図書館の記述例



生きがいづくりにつながる**生涯学習**などの**社会教育の充実**が求められるとともに、**転職や企業などへの専門的な知識のニーズ**、**地域の歴史や文化・技術や伝統を学び受け継いでいきたい**というニーズも高まるなど、幅広い世代が多様な学びを求めています。…**知恵と和の広がる図書館づくり**などの**充実した学びの場を整備し**…

※新図書館の整備計画もあり

図書館の記述のカテゴリ

- 図書館の記述がどの施策にカテゴリライズされているかを示す記述に付与したコードは344件
- 図書館の記述の属するカテゴリを「生涯学習」・「生涯学習以外」に2分

カテゴリ「生涯学習」

- 生涯学習の振興
- 生涯学習の推進
- 生涯学習の充実
- 生涯にわたる学習の支援 など

カテゴリ「生涯学習以外」

- 恵みがつなぐ文化のまちづくり
- 人を育て自己実現を支える
- 教育・文化
- 子育て支援 など

カテゴリは入れ子構造になっている場合もあるため1つの図書館の記述が属するカテゴリは排他的でない

カテゴリ「生涯学習」の図書館の記述



「生涯学習」に記述あり(88.9%)

N=27

- カテゴリ「生涯学習」に図書館の記述がある自治体は24 団体(88.9%)
- カテゴリに付与したコードは344件のうち112件が「生涯学習」

カテゴリ「生涯学習」の例

第3節 生涯学習

目指す将来像
住民一人ひとりが自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果を地域や社会に生かすことにより、心豊かな、生きがいのある充実した人生を送ることができるまちとします。

基本方針
生涯学習情報の提供と学習機会の充実を図るとともに、人材の育成と活用に努め、各年齢に応じた活動機会を創出していくなど「学び ぬれぬ未来」を目標に掲げ、生涯学習活動を推進します。

主要事業

主要事業	実施団体等	事業概要
生涯学習プログラムの充実と情報発信	町	-住民ニーズや社会情勢、行政課題に対応した魅力あるプログラムづくり -生涯学習情報の発信、啓発
人材の育成と活用	町	-ボランティア講師の活用 -団体主催講座の開催 -リーダー研修会などの開催
誰でも参加できる学習環境の整備	町	-託児に対応できる体制の整備 -障がい者の学びの場の確保と障がいのある方にかかわらず共に学べる体制の整備 -ICT機器の活用による学習環境の整備
魅力ある図書館づくり	町	-自発的な学習意欲に応えられるような蔵書・資料の充実 -講座・教室の開催と展示・イベントの活用 -図書館ボランティアの育成・支援 -各種パンフレット、リーフレットの配布 -他機関との相互連携による図書資料の確保 -インターネットを利用したサービス提供体制の整備

住民とのパートナーシップ

- ◆積極的に生涯学習活動に参加しましょう。
- ◆これまで培ってきた知識・技術を生かして、生涯学習ボランティアに参加しましょう。
- ◆生涯学習活動の成果をまちづくり活動に生かしましょう。
- ◆生涯学習活動の成果を活用して、学習する仲間を呼びかけましょう。

関連する個別計画など

◆阿久比町教育大綱 ◆阿久比町教育指針 ◆生涯学習推進計画 ◆生涯学習ガイドブック
◆子ども子育て支援事業計画 ◆子ども読書活動推進計画

59

～ 第2節 生涯にわたり学ぶ ～

(1) 生涯にわたる学習活動への支援（社会教育）

【現状と課題】
大層町には生涯学習センター、図書館などの社会教育施設があり、多くの市民に利用されていますが、老朽化が進んでいる施設も多く、今後も、設備更新や施設相互間の利便性を高めるなど、学習活動の場として充実していくことが求められています。
幼児教育については、図書館ボランティアの協力を得ながら読み聞かせなどの活動を行っています。幼児教育に関わる団体や関係機関との連携を深めながら、市民の希望に応じて子育てサークルの活動などが活発に展開されるよう支援することも必要です。
少年教育については、平成19年10月に策定した「大層町教育の白」の理念に基づき、本町の特性を活かし、生活・文化体験、自然体験、科学体験など、社会性、公共性、自主性を育むための事業を展開しています。また、子どもの成長や発達段階に必要な社会性や道徳意識を育成するため、道徳子ども会、南十勝長期宿泊体験交流協議会（STEP）、教育関係団体などとの連携により、少年の健全育成に向けた取組みを行っています。今後も、地産町民の子どもたち等との交流事業を求め、地域の特性を活かしながら、ボランティア活動や世代間交流などの体験活動を推進することが必要です。
成体教育については、徳信館の多様化などで団体活動に対する関心が薄くなってきている一方で、自主的なイベントの企画や様々な学習サークルの活動が行われるようになってきていることから、これらの自主的な活動を支援しています。今後は、学習要求に応えるだけでなく、今日的課題を解決していくための学習機会の提供に努めるほか、学んだことや培った経験を活かして、社会参加できる体制づくりを進めていくことが必要となっています。
家事や育児、介護、あるいは仕事によって学習意欲があるにもかかわらず、学習機会を得られない市民がいることから、学習機会の提供方法について工夫することも必要です。
高齢者教育については、生きがいづくりや趣味、特技を習得する学習活動の場、社会活動への参加機会として「ことぶき大学」を開設していますが、参加者や内容が固定化する傾向にあります。高齢者の学習ニーズに応えるとともに、高齢者の豊かな経験を活かし社会参加の機会を拡充するなど、学習意欲を高めることが必要です。
生涯教育については、広範囲にわたる生涯学習部などを通じて、「早寝・早起き・朝ごはん」など子どもの生活習慣の改善のため家庭教育の重要性を啓発しています。また、地域で家庭教育について考える機会を設けたり、学校において家庭学習塾を開校しています。今後も、保護者や共働き世帯等の増加が予想されることから、「大層町教育の白」の理念に基づき、家庭・学校・地域と連携し、家庭に即ける教育力の向上をはかることが必要です。
指導者、指導体制については、社会教育主事などを配置し、学習活動を支援していますが、専門的指導者の確保や資力の向上に努めるなど、指導体制を充実させることが必要です。

【基本方針】
生涯学習センターや図書館など、社会教育施設の機能充実や利便性の向上に努めます。生涯にわたる学習活動の必要性を普及・啓発するとともに、多岐にわたる学習機会の充実を図り、自らの意思で自己の充実や生活の向上のために、生涯にわたって学習し、学んだ成果を地域で生かせる環境づくりを推進します。

58

生涯学習

生涯にわたり学ぶ

カテゴリ 「生涯学習以外」 の例：教育

第3章 次代を担う人を育む教育・文化のまち

3-1 学校教育

▶目的と方針
「人づくり教育」をさらに進めるため、学校施設の整備や生きる力の育成を重視した教育内容の充実をはじめ、総合的な学校教育環境の充実に努めます。

▶現状と課題
わが国では、将来の社会の変化を見据え、「第3期教育振興基本計画」を策定し、教育の再生に向けた様々な改革を進めています。また、学習指導要領も改訂され、幼稚園では平成30年度、小学校では平成32年度、中学校では平成33年度から完全実施となっています。
平成29年5月現在、本町には、町立の幼稚園が3園、小学校が4校、中学校が2校あり、幼稚園園児数は90人、小学校児童数は1,548人、中学校生徒数は816人となっています。
本町では、平成23年度に策定した「茨城町小中学校再編計画」に基づき、平成26年4月に青葉中学校、平成27年4月に青葉小学校、さらに平成28年4月には嬰小中学校を開校し、学校の再編を完了しました。統合にあたり、校舎の改築・増築や既存施設の大規模改造、空調設備の設置等、教育環境の質的向上を図りました。今後は、非統合校の教育環境の充実を図る必要があります。また、学習指導要領の改訂等を踏まえた生きる力を育む教育内容の一層の充実、安全・安心な環境づくりなどが課題となっています。
このため、非統合校の施設整備をはじめ、生きる力の育成に向けた教育内容の充実、心の問題への対応、家庭や地域と一体となった開かれた学校づくりなど、「人づくり教育」のさらなる推進に向けた総合的な取り組みを進めていく必要があります。

- 90 -

4 豊かで創造性に富んだ児童・生徒を育成するための教育の充実による人づくり

(1) 学校教育の充実 【施策17】

① 目標とする姿

子どもたち一人ひとりが自分の良さを発揮し、いきいきと学習に取り組んでいます

② 現状と課題、将来起こりうる課題
次代を担う目的志向の子どもたちには、情報化や国際化など急速かつ激しく変化するこれからの社会を主体的・創造的に生き抜いていく「生きる力」を育成することが求められています。
本町では、「確かな学力」の育成を目指して、学力調査に基づいた授業改善推進プランの作成・実施、ICT（情報通信技術）の効果的な活用、習熟度別少人数指導の充実、教職員研修の充実等を行ってきました。「豊かな心」の充実を目指して、道徳授業地区公開講座の開催、「日の出町いじめ防止基本方針」に基づいた各学校と連携した取組等の充実を図ってきました。「健やかな体」の育成を目指して、体力調査による児童・生徒一人ひとりの分析や実践、オリンピック・パラリンピック教育の充実等一定の成果を挙げてきました。今後さらに「知」「徳」「体」のバランスの取れた教育の充実が求められています。
引き続き、いじめ、不登校、ひきこもり、発達障害、事件・事故後のこころのケア、性や思春期の課題等児童・生徒の成長に伴う課題に対する相談・支援体制のより一層の充実が求められています。
学校施設の整備・充実、施設の老朽化による雨漏り、水漏れや配管の詰まりなど様々な支障が発生しており、緊急度に応じた改修を進めていく必要があります。
また、学校給食を通じ、成長期にある児童・生徒に栄養や健康への指導等、食生活に関わる正しい理解と望ましい習慣を養うため、今後とも学校と連携を密にし適切な学校給食の実施に努めていくことが求められています。

③ 施策展開

- ①教育の質の維持向上（働き方改革）
- ②「確かな学力」を育む教育の推進
- ③「豊かな心」を育む教育の推進

50

時代を担う人を育む
教育・文化のまち

豊かで創造性に富んだ児童・生徒
を育成するための教育の充実による人づくり

カテゴリ「生涯学習以外」の例：子育て 1/2

(2) みんなで子育てをする環境づくり

【施策の体系】

みんな子育てをする環境づくり

- 目標①家庭教育の充実
- 目標②青少年健全育成活動の充実
- 目標③家庭・学校・地域が一体となった教育環境の充実

①家庭教育の充実

【第6次総合計画前期計画 実績等と課題】 ○実績等 ▼課題

◎家庭教育学級の開催【社会教育課】

家庭教育の充実と家庭教育力の育成を目的に、保育園・幼稚園等において各園合わせて約20回（出席講座含む）、小・中学校においては、学校ごとに月1回、年16回開催した。

基本的な生活習慣の形成や家庭生活における役割分担の明確化を目的とする子育てに関する学習だけでなく、ヨガ体験・クリスマスリース作り・フラワーアレンジメントなど気分転換となる内容も取り入れた。

◎読書活動の推進【社会教育課】

図書館では、毎週土曜日の午前中、町内のボランティアグループによる絵本の読み聞かせや手遊びをするおはなし会が行われており、幼児や小学生の親子が参加して本と楽しむことができた。

また、小・中学校から推薦されている推進委員の先生との協力で、年に1回、子ども読書まつりと高橋町小中学校読書感想展を美術館ホールで開催するなど読書活動の推進を図った。

◎読書活動の更なる推進【社会教育課】

現在実施しているボランティアや学校との連携による読書活動の推進に加え、イベント開催や図書館の利用者登録について、図書館以上の活用や新聞・ラジオ・テレビなどメディアの協力を得ながら積極発信をしていく必要がある。

また、転入者から「図書館の場所が分からない」との意見があるので、ホームページやチラシなどを活用して更なる広報活動により周知を図る必要がある。

5) 家庭での教育力の強化

【状況】

子どもを持つ家庭は、安全・安心に子育てできるようにするため、国や県など上位の自治体と、平成23（2011）年4月1日から子ども家庭支援センター「きこりん」を開設しました。0歳～18歳未満の子育てを応援する「きこりん」では、地域みんなで子どもを守り、すべての親がゆとりをもって子育てができるように、子どもと家庭に関する総合相談やファミリー・サポート・センター、子育てサロン、ベビーマッサージ、リトミック、軽体操等のサービスを提供しています。

併せて、各地区にある子どもたちの遊び場に設置してある遊具は、点検を実施し、危険な遊具を撤去しているほか、更多摩総合運動公園の遊具を改修するなどをして、利用者の安全の確保に努めています。

子どもたちの学習機会を提供するために、ブックスタート事業を行えるように図書館での乳幼児用図書の充実を図っています。

また、保護者と学校との連携強化を図るために講演会事業を行い、子育てや子どもの健全育成等について、学べる機会を設けています。

【課題点と課題】

町内各地区の遊具の点検を今後とも継続的に実施し、必要に応じて遊具の改修と危険な遊具の撤去を行うことによって利用者の安全の確保に努めることが必要です。

また、親を対象とした家庭教育講演会等多くの参加者を募るため、PR方法等の充実が必要です。

【今後の方向性】

○子どもたちが安全に、安心して楽しく遊び、学べる環境づくりを推進します。

○次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに、成長できるように親を対象とした学習機会と親子のふれあいの場をつくり、家庭教育力の向上を推進します。

【指標】

指標	基準値	目標値
「家庭教育への支援、推進」の満足度	49.4% (平成25年度)	60.0% (平成36年度)

指標設定の考え：「更多摩町まちづくり住民アンケート」調査結果を指標として、町の取り組みに対する住民の満足度の向上を目指します。

みんな子育てをする環境づくり

…読書活動の推進

図書館では…絵本の読み聞かせ

家庭での教育力の強化

カテゴリ「生涯学習以外」の例：子育て 2/2

第2章 総合戦略

4-2-2 基本目標の 結婚～子育ての場として選ばれるまち

基本目標の 結婚～子育ての場として選ばれるまち

○結婚、妊娠、出産、子育ての場として選ばれる町となるため、子どもを産み育てやすい環境づくり、仕事と家庭を両立でき女性が働き続けられる環境づくり、地域が一体となって子育てを見守り応援する環境づくりに取り組みます。

○妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援により、結婚や出産、子育ての希望をかなえ、出生率の増加や少子高齢化社会・男女共同参画社会に対応する活力ある地域づくりに取り組みます。

○結婚、妊娠、出産、子育てに関わる町の課題を明確化し、それに応じた取り組みを分野横断的に展開する「地域アプローチ」による少子化対策の推進に取り組みます。

数値目標	基準値	目標値 (R6)
合計特異出生率	1.62 (H27)	1.83
20～49歳の転出超過数	3人 (H30)	3人

戦略 25

第2章 総合戦略

(イ) 地域と連携した子育て環境ときめ細やかな学習支援

数値目標	基準値	目標値 (R6)
授業におけるICT活用率※	小学校 96.2% 中学校 95.2% (R1)	小学校 95% 中学校 95%
不登校児童・生徒数	出現率 1.09 (H30)	出現率 1.0以下
地域及び大学等との連携による学習支援活動の参加人数	180人 (H29、30平均)	1,080人 (216人/年)
新規ユニバーサルリーダー登録者数	4人 (R1)	10人
図書館カード登録者数	3,050人 (H30)	3,500人
地域子育て支援センター「氷川学」参加者数(町主催事業分)	40人	80人

※授業でICT機器を1回以上活用する児童生徒の割合(全国平均R1:小中学校30.6%)

①質の高い学習環境づくり

○地域及び大学等教育機関と連携し、夏・冬休み期間等を中心に大学生等による学習サポートを行い、子どもたちの学習意欲の向上等に取り組みます。

○各小中学校に学習支援員を配置し、障がいのある児童生徒の学習活動などの充実に取り組みます。

○ICT機器による先進の学習環境を維持管理し、プログラミング教育等に活用することにより、児童・生徒の積極的な学習活動への参加や、学習意欲・思考力・判断力などの向上を促し、魅力ある学習の場づくりに取り組みます。

○子どもたちの充実した読書・学習活動の促進のため、図書館の充実、活性化に取り組みます。

○「読書・学習活動の推進」に関する取り組みは、読書・学習活動の推進を図るとともに、若い世代の流出抑制につながる、ふるさとへの愛情醸成に取り組めます。

戦略 28

結婚～子育ての場として選ばれるまち

地域と連携した子育て環境ときめ細やかな学習支援

図書館カード登録者数

子どもたちの充実した読書・学習活動の推進のため、図書館の充実、活性化に取り組みます

カテゴリの違いによる図書館の記述の特徴

カテゴリ生涯学習		カテゴリ生涯学習以外	
学習	.197	教育	.147
図書館	.160	整備	.096
生涯	.158	図る	.090
充実	.131	事業	.085
活動	.126	計画	.078
社会	.111	学校	.077
推進	.096	支援	.071
施設	.081	環境	.065
必要	.076	子ども	.065
連携	.068	読書	.056

●カテゴリ「生涯学習」

- 特徴語として「学習」「生涯」「社会」など

●カテゴリ「生涯学習以外」

- 特徴語として「教育」「学校」「環境」「子ども」など

右の数字は集合の類似を表すjacaard係数

図書館の記述のある文章の特徴（頻出語）

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
図書館	226	生涯	55
充実	102	資料	51
活動	93	計画	49
学習	91	必要	44
読書	76	連携	43
教育	71	委員	41
推進	69	学校	41
利用	65	支援	41
事業	64	図書	38
図る	60	提供	38
町民	57	社会	36
施設	55	整備	36

- ポジティブな変化を求める語
- 図書館が読書に関わる機能・役割を持つことを示す語
- 生涯学習・社会教育を表す語
- 連携先として学校・保育施設を挙げる記述も多かった

「充実」の記述例

(7) 図書館利用者サービスの充実

レファレンスサービスの充実や情報発信、子どもたちが利用しやすくなる機会づくり等により、住民の課題解決能力や豊かな心を育む、地域に貢献し暮らされる図書館を目指します。

※レファレンスとは、図書館の資料を使って、利用者一人ひとりの資料・情報を提供させていただきます。

【計画目標1】

目標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011年度	2016年度	2022年度
参加者人数	-	834人	850人

※後掲資料は令和3年度より改題を設けたため、2011（平成23）年度のデータは記載されません。

○主な取り組み

○図書館サービスの充実

おはなし会やブックスタート、人形劇公演、講座など、親子で楽しめるサービスを充実します。

○実施する事業

名称	コード	目的の内容
図書館活動推進事業 ①	10000740	まはらと保護者や、おはなし会のボランティアと次世代ボランティアを対象として実施
図書館活動推進事業 ②	10000750	3、4ヶ月乳幼児読書活動本等を入れた「ブックスタートパック」を作り、絵本を介して親子のふれあいを促す子育て支援プログラムを実施することで支援
図書館活動推進事業 ③	10000760	大規模な読書イベント、親子で楽しんでいることにより、親子間の絆を育むことにつなげる支援

【計画目標2】

目標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011年度	2016年度	2022年度
レファレンス支援率	100%	100%	100%
利用者アンケートによるサービス満足度	未実施	未実施	80.0%

○主な取り組み

○レファレンスの強化

図書館業務に携わる人材の育成を図るとともに、利用者アンケートを活用し、サービスの改善に努めます。

○実施する事業

名称	コード	目的の内容
利用者アンケート調査 ①	10000770	調査事業
図書館業務推進事業 ④	10000780	図書館業務システムへのノウハウ集約と職員間の共通認識を持つことを目的に研修を実施する

63

kiho

取組の内容	取組の内容
4 図書館の機能充実	■図書館の機能充実に向けて蔵書の要なる充実や施設の整備、館主資料のデータ化を図るとともに、様々な関係機関との連携をより一層深め、住民の利便性の向上に努めます。 〔図書館〕
5 遠隔地読書環境整備事業	■移動支所等や町内の様々な関係機関への団体貸出を積極的にを行い、遠隔地や高齢、障がい等の事情により来館が困難な住民への貸出サービスの充実を図ります。 〔図書館〕
6 課題解決型図書館サービス推進事業	■様々なライフステージに役立つ情報を提供し、データベースの設置や活用講座の開催、ビジネス情報コーナーの設置等により、新規就労や起業などに役立つ情報も提供できるよう努めます。 〔図書館〕
7 子ども読書活動推進事業	■子どもに関わる様々な関係機関との連携を深め、ブックスタート事業やおはなし会、絵本作家などによる講演会、読み聞かせボランティア養成講座の開催等により、子どもが読書に親しめるような環境づくりに努めます。 〔図書館〕

- 総合計画は今後の方針を示す文書のためポジティブな変化を求める「充実」の出現が多い
- 「図書館サービスの充実」「図書館の機能充実」「蔵書・資料の充実」など

「読書」の記述例

基本事業の構成

基本事業の名称	種別名	取組数	稼働率	種別の内訳
基本事業1 【ア】 地域活動の充実	任意のまちづくりのための地域活動が実施されている割合	68.0%	75%	地区体育祭やふるさとまつりなどの地区公民館事業を機会とし、任意で実施して活用できるレクリエーション施設と併設して、地域活動に参画する機会を創出している。
	地域リーダー養成研修開催回数（年間）	3回	5回	自治公民館員、主事及び地区役員を中心に幅広く参加者を募り、研修内容も充実することで地域づくりを行う人材育成に努めている。
基本事業2 【イ】 学習機会や学習内容の充実	公民館主催教室開催数（年間）	5教室	8教室	学習機会の必要性を調査・検討し、各世代のニーズに応じた学習機会の提供に努めている。
	公民館主催教室参加人数（年間）	146人	380人	
	各市区公民館独自の発行回数（年間）	17冊	34冊	公民館などにより定期的に活動内容の豊富さを確保し、読書活動の活性化を図っている。
	公民館主催教室（年間）	34教室	38教室	公民館主催教室の取り組みを充実させ、自主教室への誘導を図ることで、読書の主体的な取り組みを促進している。
基本事業3 【ブ】 地域における子どもの健全育成	地区公民館放課後子ども教室開催回数（年間）	2回	5回	地区公民館事業の充実に向け、地域との連携により、公民館以外の施設での実施も図っている。
	体験活動教室などの開催回数（年間）	48回	60回	子どもと保護者のニーズに応じた様々な学習の機会を提供することによって、子どもの可能性を広げ、健全育成に努めている。
基本事業4 【ク】 読書のまちづくりの推進	公民館主催読書会開催回数（年間）	117,338回	130,000回	地区ニーズを捉えた読書、レファレンス事業の充実を図ることで読書環境を整備している。
	公民館内行事参加人数（年間）	1,446人	1,600人	読書講座・読書会を開催し、子どものころから読書に関心をもたせようとしている。
	子ども読書推進事業回数（年間）	8回	40回	各学級と連携し、学校図書館、地区図書館の機能を有効に活用し、子どもの読書活動を推進している。

第4章 図書館活動の充実
第1節 図書館・読書活動等の充実
《現状と課題》

「読書（76回）」も気軽に利用することができる生涯学習施設として、読書をはじめとする資料の提供等を通じて、市民の教養・レクリエーション・調査研究等の様々な要求にお応え、地域の実情に応じた図書館サービスの充実に努めています。そうした状況において、図書館が取り組む特に重点的な課題として、「資料提供」「教養・調査・レクリエーション等支援」「読書推進」「教育機関・関係団体等支援」が挙げられます。

読書の習慣を身につけることは、知識や学力の基礎となる「読む力」を獲得することにつながり大きな無形の財産を得ることになります。こうした習慣を身につけさせるため、子どもから家庭において読書の読み聞かせなどを通じて、本の世界の面白さに触れる機会を提供していきます。

読書冊数は目標7万冊となり数値的には足りて見えますが、本種の空きは8万冊でも十分収納可能であり、内容的には古い図書が多く貸出冊数の伸び悩みもみられ、図書館利用者への足場になる差もみられます。計画的な採集作業を進めながらニーズにあった魅力的な読書の充実が課題となっています。

《目標》

読書の充実と団体貸出を含め学校などの連携を強め、各種団体活動の支援を強化し、子ども読書活動推進計画に基づき、子ども達が本と親しむ機会を充実に向けた取組みを推進します。

また、高齢化が進む中、映画鑑賞会や地域巡回図書館ワゴンなどの活動の支援のために機会の提供を積極的に行い、市民の憩いと生涯学習や情報共有の場、子ども達の居場所としても気軽に利用できる施設を創設します。

《単位施策》

No	単位施策名	内 容	実施主体
1	資料提供の充実	市民の利便性を考え、図書等の資料を幅広く収集し、整理・保存に努め、読書の充実を図ります。	図書館
2	教養・調査・レクリエーション等支援	市民の教養・レクリエーション・調査研究等を支援するため、図書館講座・無料映画鑑賞会及びレファレンスサービスを実施します。	図書館
3	読書推進	市民の読書活動を推進するため、資料展示会や読み聞かせ会を実施し、図書への興味・関心を喚起します。また、ブックスタート事業を活用し、育児期における絵本の読み聞かせの重要性を伝えます。	図書館

- 読書（76回）も出現回数が多く、図書館が読書に関わる機能・役割を持つと認識されている

- 「読書のまちづくりの推進」

「読書活動の充実」

「読書環境の整備」

「学校」の記述例

2章 むらづくりの施策大綱

1. むらづくりの基本方向

基本方向1 子どもたちの笑顔があふれ文化を育み時代を創る“人づくり”

むらづくりの基本は“人づくり”です。地域が人を育て、人が地域を創造し発展させていきます。少子高齢化、人間関係の希薄化、高度情報化、国際化等が進展する現代において、未来の担い手である子どもを安心して産み育てられる子育て支援や、人間性豊かな子どもたちの幼稚園・学校教育を推進します。また、宜野座村の風土や地域文化との関わりの中で、誰もが生き生きと生きがいをもって学べる生涯スポーツ・生涯学習の推進をはじめ、地域の伝統文化を継承するとともに、豊かな感性を育む文化活動の振興や多様な交流を推進し、「子どもたちの笑顔があふれ文化を育み時代を創る“人づくり”」をめざします。

施策1 子育て支援の充実

施策2 魅力ある幼稚園・学校教育の推進

施策3 生涯スポーツ・生涯学習の推進

施策4 地域文化の継承と文化活動の振興

施策5 県内外の交流活動の推進

施策② 豊かな心と健やかな身体の育成

いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期発見・解決
児童生徒による読書活動の充実
児童生徒の豊かな心と健やかな身体の育成

No.	計画事業	事業概要	実施期
32	小学生のフック物読みを推進します。	各小学校週1回、希望する家庭の児童に低学年フックでのうがいを実施	教育委員会 学校教育G
33	いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期発見・解決を図ります。	教育相談員の配置（1名）、児童福祉と連携した学校訪問、児童虐待防止対策の推進（月1回文部省から派遣）	教育委員会 学校教育G
34	学校の読書環境（図書室）の充実を図ります。	葉山町図書館（指定管理者：NPO法人くりやま）との連携強化による学校図書への充実・活用の推進	教育委員会 学校教育G
35	子ども書づくり活動を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。	児童生徒のスポーツ・文化活動の支援（企画大会以上の参加型）に児童生徒の一人を参加させ、中学生の芸術鑑賞会の充実	教育委員会 学校教育G
36	「届け！葉っ子」児童生徒支援を行い、子どもたちの意欲を育みます。	努力賞（学校・社会生活での努力）・奉仕賞（社会奉仕への奉仕活動）・親切賞（親切な行い）・体育賞・学芸賞の表彰を実施	教育委員会 学校教育G

施策③ ふるさと総がかりによる教育の推進

子どもの豊かな育ちを支える地域総ぐるみ教育の実現
地域を題材にした学校での「ふるさと教育」の推進
各家庭における経済的負担の軽減

No.	計画事業	事業概要	実施期
37	コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入を進めます。	各小中学校に学校運営協議会を設置し、地域住民、関係者の声を学校経営に反映させた地域とともにある学校づくりの推進	教育委員会 学校教育G
38	児童生徒の登下校時の安全・安心を確保します。	通学路の定期点検（危険箇所把握）と校区安全マップの作成	教育委員会 学校教育G
39	ふるさと教育を推進するため、葉山らしい副読本を作成します。	社会科副読本の作成と利活用（小学校3年生に配布）	教育委員会 学校教育G
40	各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。	課外活動・課外活動児童生徒の給付補助（医療費・学用品など）、幼稚園への通園を希望する保護者の負担軽減 など	教育委員会 学校教育G
196	地域と連携した「キャリア教育」を推進します。	地域、企業、介護福祉学校などと連携した小・中学校、高等学校におけるキャリア教育の推進	教育委員会 学校教育G

- 図書館に学校との連携を期待する記述が多く見られる
- 学校図書館と書くところもあるが「学校機関」「学校の読書環境の充実」などの記述もある

図書館の機能・役割に特徴ある記述

02 多くの自治体で期待されている

図書館の機能・役割は何か



- 多くの記述が属しているカテゴリ
- 頻出語

03 機能・役割に特徴ある記述はあるか



- コードから特徴的な語を選択
- 分析の過程で独自性があると注目した記述



総合計画の図書館の記述例を示す

本との出会いを介したコミュニケーション



現場と課題

…図書館は町民の学習を支えるだけでなく、本との出会いを介したコミュニケーションで心の安らぎを提供する場にもなっています。

10年後のめざす姿

…憩いの空間として各世代の町民に認知され利用されている

ほんの里づくり

— 単位施策・取組み内容 —

1. 生涯学習の積極的推進

(1) 生涯学習意識の高揚
多くの町民が新たな知識や情報を学習・習得し、自らの能力を高めようとする機会や、活動・交流の場、学習成果の発表の場の提供に努めるとともに、自主的な学習活動を支援するボランティアの育成や組織の強化に努めます。

(2) 生涯学習拠点施設の整備検討
生涯学習推進の中核的施設となる生涯学習施設について、近年の財政状況や中央公民館の施設状況などを考慮しながら、適切な整備時期や町民ニーズを踏まえた施設内容などについて、検討を進めます。

2. 中央公民館事業執行体制の充実と学習機会の拡大

(1) 中央公民館事業執行体制の充実
生涯学習社会の実現を見据え、町民ニーズに対応した多種多様な学習機会の提供を図るため、社会教育指導員の確保や自己研鑽の場づくりを進め、事業執行体制の維持・充実に努めます。

(2) 学習機会の拡大
町民ニーズに対応した学習講座の開設を基本に、社会環境の変化に応じた手法を用いながら、女性層をはじめ、男性層や若年層の参加に配慮した、個人の楽しみや生きがいとなる学習機会の提供に努めます。

3. 地域リーダーの育成と活動の支援

(1) 地域リーダー養成研修の実施と活動支援
地域づくりの核となるリーダーを育成するため、養成講座や自主研修会への参加を促すとともに、地域活動の活性化に向け、地域団体や各種グループの主体的な取組みの支援に努めます。

4. 「ほんの里かみのかわ」づくり

(1) 読書環境の整備
「ほんの里かみのかわづくり」の推進のため、図書ネットワークを活用し、町立図書館と町内他施設との連携を強化しながら、児童・生徒や町民が読書を楽しむきっかけづくりや、町立図書館のより多くの利用を促すレファレンスサービスの向上などに努めます。

(2) 各種自主事業の充実
町民の図書館・情報提供センターとしての機能強化や、図書館設置の目的の効果的な達成が図られるよう、図書館に興味のなかった方たちが足を運ぶきっかけともなる、各種自主事業の見直し・充実や参加の促進に努めます。

施策指標

取 組 名	基準値(過去の実績値)	目標値(7年度)
公民館主催講座の受講及びイベントで来館した町民等の延べ人数	7,469人	9,000人
PTA指導者養成講座等派遣者数	19人	25人
町内学校図書館における一人当たりの利用冊数	33冊	36冊
図書館貸出資料数	142,567冊	149,000冊
レファレンス受付件数	1,647件	2,000件
図書館来館者数	69,576人	73,000人

— 主要事業等 —

- 生涯学習講座の開催
- 図書館ボランティア養成講座
- 生涯学習施設に関する調査研究
- 社会教育指導員となる人材の確保
- PTA指導者養成講座等派遣事業
- 地域リーダー養成講座
- 小・中学校図書館司書配置事業
- 図書館蔵書の整備



図書館ボランティア活動の様子

ほんの里づくり

図書館に興味のなかった方たちが足を運ぶきっかけともなる、各種自主事業の見直し・充実

地域に貢献し親しまれる住民の憩いの場

(7) 図書館利用者サービスの充実

【施策の目標】

レファレンスサービスの充実や情報発信、子どもたちが本に親しむ機会づくり等により、住民の課題解決能力や豊かな心を育む、地域に貢献し親しまれる図書館を目指します。

※レファレンスとは、図書館の資料を使って、回答が得られない資料・情報を探して貸出させること

【計画目標1】

指標名	計画決定時	実績値	目標値
	2011年度	2016年度	2022年度
参加者人数	—	834人	890人

※後年度に本目標設定にあたり前年度を訂正したため、2011（平成23）年度の数は未記載

【主な取組】

○図書館サービスの充実
2022なし会やブックスタート、人間関係講座、講座など、親子で楽しめるサービスを充実します。

○関連する事業

名称	コード	月別の内容
16.市民活動推進事業 040	10000240	乳幼児と保護者や、2022なし会がボランティアと連携してボランティアを対象として実施
16.市民活動推進事業 040	10000240	3、4ヶ月活動開始時に絵本を入れた「ブックスタートパック」を準備し、絵本を全て親子のスマホに預け子が読めるようメッセージを添えることで支援
16.市民活動推進事業 040	10000240	人間関係講座を開催し、親子で楽しんでいただくことにより、親子間の絆を育むきっかけづくりを支援

【計画目標2】

指標名	計画決定時	実績値	目標値
	2011年度	2016年度	2022年度
レファレンス支援率	300%	100%	100%
利用者アンケートによるサービス満足度	未実施	未実施	80%

【主な取組】

○レファレンスの強化
図書館業務に携わる人材の育成を図るとともに、利用者アンケートを活用し、サービスの改善に努めます。

○関連する事業

名称	コード	月別の内容
利用者アンケート調査 040	新規事業	サービス調査を実施する
16.市民活動推進事業 040	10000200	16.市民活動推進事業でのノウハウ取得と職員間の知識共有を行うこととを目的に研修に参加する

63

【現状と課題】

- 資料の貸し出しにとどまらず、住民の憩いの場としての空間づくりの支援
- 積極的に職員研修を行いレファレンス支援の向上に努める

64

地域に貢献し親しまれる図書館
資料の貸し出しのみにとどまらず、住民の憩いの場としての空間づくり

町民の交流の場

政策5 学びあい未来を拓く人づくり

5-2 生涯学習の充実

■ 施策の目的

対象	目指す状態
A 地域	町民が生涯学習に参加する機会を継続して提供している
B 町民	日頃から自主的学習に取り組んでいる

■ 前期基本計画の検証（平成30年度時点）

町民自らの生涯学習への取り組み状況が伸びていることから、新公民館体制を機に町民ニーズに合った生涯学習プログラムの提供や仕組みづくりに取り組む必要があります。

- 成果指標の目標を持って学習を行っている町民の割合については、目標値の43.0%に対して平成30年度時点が40.1%と横ばいであり、目標値達成は厳しい状況にあります。
- 成果指標の生涯学習講座の参加者数については、目標値の8,000人に対して平成30年度時点で7,373人ですが、平成28、29年度は達成していることから、目標値達成可能な状況にあります。
- 成果指標の公民館図書等の貸出数については、目標値の18,800冊に対して、平成28、29年は平均11,200冊程度であり、平成30年度は町図書館開設に向けて高田図書館を11月末で閉館したため、8,888冊と大きく下回っています。

■ 現状

- ① 公民館事業運営協議会を設置し、公民館事業並びに各生涯学習センター事業の点検評価を行うことで、地域住民の主体的な参加をより一層推進しています。
- ② 町民意識調査において、目標を持って学習を行っている町民の割合は近年40%前後ですが、学習参加者は高齢者などに偏る傾向がみられ、若者層等の参加者が少ない状況にあります。
- ③ 家庭教育への支援が十分でない状況にあります。
- ④ 公民館、図書館、ホール等を併設した場合文化施設が整備され、新たな町民の交流の場と賑わいの拠点になっています。
- ⑤ 学校支援コーディネーターを配置し、地域・学校などの関係機関が連携しながら、相互学習や地域みんなで子どもたちを育てる学校ボランティアの基盤が確立されています。

■ 課題

- ① 公民館事業等の整理統合の円滑な推進
- ② 多様化・高度化する町民の学習意欲への対応と学習機会の提供
- ③ 家庭での教育力の向上を目的とした講座等の充実
- ④ 施設利用の周知や施設を活用した新たな生涯学習事業の確立
- ⑤ 学校だけでなく多様な、多方面にわたる地域・学校・家庭との連携の推進

■ 成果指標と目標値

成果指標	方向性	現状値	目標値	単位
A 生涯学習講座に参加している町民の割合	増加	37.7	38.0	%
B 目標を持って学習を行っている町民の割合	増加	40.0	42.0	%

※ 現状値は、Aは平成30年度時点の値、Bは町民意識調査の結果を考慮して平成28～30年度の平均値

目標値設定の考え方

- 人口減少や生涯学習機会の多様化等により前期基本計画期間中は減少傾向にあるが、生涯学習機会の充実により増加を目指す。
- 前期基本計画期間は横ばいの状況にあるが、年間0.5ポイント程度の増加を目指す。

■ 期間中の町の主な取り組み

- ① 「公民館のあり方方針」に基づき、各生涯学習センターが連携し、学習ニーズに合った学習機会の提供や対象者及び対象地域の拡大によるセンター事業の整理統合を推進します。
- ② 町民の多様化・高度化する学習意欲に対応するために、各種教育機関や各種関係団体等と連携するとともに、広報紙やホームページ等を活用しながら、文化団体等の活動内容等を紹介し、町民への学習機会や学習内容の情報を提供します。
- ③ 「生涯学習の場」を「学びあいの場」として、生涯学習の場として活用し、学習意欲を高めるブックスタート事業などの取り組みを継続します。
- ④ 公民館や図書館、町内の各関係団体等との連携を図り、町民の交流の場の提供や豊かな心が育まれる生涯学習の機会づくりを推進します。
- ⑤ 学校・家庭・地域が連携、協働し、地域全体で子どもを育てる体制を構築します。

生涯学習センター活動事業

■ 課題解決のための町民等の役割

主体（誰が）	取り組み	対応する課題
町民	自ら進んで学習するとともに、学習成果を地域づくりに活用します。	②、③
町民（家庭）	家族とともに学び、家庭での学習の習慣化に努めます。	③
団体	情報提供と呼びかけにより仲間づくりを推進します。	①、②
事業所	町民や地域の学習活動に参加・協力をします。	①、②

新たな交流の場と賑わいの拠点
となっています

新たな文化を創出する交流の場

3 学び

テーマ：生活の知恵から趣味や仕事まで、暮らしを彩る学びを増やす



施策1

子どもたちが充実した学校生活を送るために

0-20歳

将来を担う子どもたちが安心して学び、充実した学校生活を送っていく環境を整えることは、安心して学び暮らしていける町を作っていくうえで不可欠です。

本町の森林に囲まれた豊かな自然環境、地域文化をもとに、子どもたちが学ぶ環境の充実に向けて、教職員の教育力向上や設備整備、地域と連携した開かれた学校づくりなど、本町ならではの児童生徒一人ひとりを大切にした教育を推進していきます。

- 保小中連携による教育活動の向上
- 特別支援教育支援員の配置による特別支援教育の充実
- 学校評議員の意見を取り入れた学校運営
- 教職員の教育力の充実
- 学校現場でのICT機器の活用
- 開かれた学校づくり
- 児童生徒の語が異なる少人数学級の実施
- 学校不適合児童生徒に対する支援と連携の推進
- 学校と家庭の連携による良質な生活習慣の定着



施策2

生きる力を育むために

10-20歳

次世代を担う人材育成に向けて、子どもたちの「学ぶ力」を最大限に引き出すとともに、将来に向けた視野を広げるなど、「生きる力」を育むための取り組みも求められます。国際交流などのさまざまな経験・体験とともに、意欲的に学べる環境づくりを進めることで、子どもたちがそれぞれの個性をのびのび伸ばし、発揮できる環境づくりを進めます。

- 国際感覚の醸成（韓国・原産産物ととの交流と異文化教育の充実）
- 学校図書館の充実（学校図書館協議会と図書館との連携強化）
- 国際教育ビジョンに基づく教育（成果の検証とさらなる向上対策の推進）
- 青少年の健全育成の推進

38



施策5
生涯学習のステージづくり

全世代

一人ひとりが地域で生きがいをもって充実した暮らしを送るためには、地域の文化的活動・サークル活動・スポーツ活動なども重要な役割を果たします。

そこで、さまざまな世代の学びの機会、生涯学習の機会づくりに向けて、既存施設の生涯学習、交流の場としての活用、文化やスポーツなどに取り組むサークルなどへの活動支援などを進めます。また図書館を、暮らしに役立つ身近な施設として町民が集い、交流することで、新たな文化を創出するような交流の場として整備していきます。

- 図書館を中心とした賑わい創出
- 多文化サークルの活動支援と参加者の加入促進
- 文化創生課・活用課との連携強化
- 地域伝統文化の後継者育成
- 各地区分民間の地域の生涯学習拠点施設としての明確化
- 各地区分民間と中央分民間の役割の明確化と連携強化の促進
- 図書館専事

40

暮らしに役立つ身近な施設として町民が集い・交流することで、新たな文化を創出するような交流の場

情報拠点として人が集い触れ合う

第7次日吉津村総合計画 (令和3年度～令和12年度)

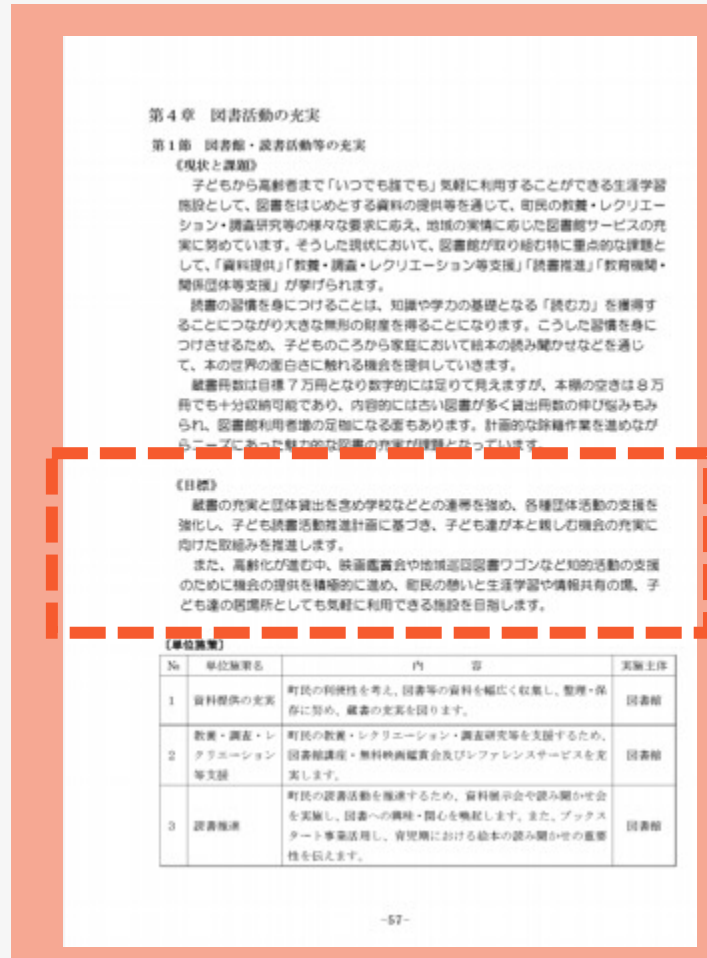
みんなで創る
元気な村
住み続けたい
日吉津村



(基本計画)	担当課	教育委員会
政策1	豊かな心をはぐくむ	むらづくり
施策1	誰もが学び 読めるむらづくり	
基本事業2	生涯学習の推進	
1	めざす姿	
(1)	家庭、地域、学校の連携（GUTS日吉津っ子の育成）を一層推進しながら、コミュニティ・スクール事業を立ち上げ、地域とともにある学校を実現し、地域の教育力を拡大します。	
(2)	フレンドリーな3機能（公民館機能、図書館機能、健康増進機能）を活かし、豊かな心を育み人にやさしい図書館、情報拠点として人が集いふれあふ図書館をめざし、読書活動とさまざまな利用者への図書サービスの充実を図ります。	
(3)	フレンドリーな3機能の活用を推進し、子どもから高齢者まで、誰もが利用しやすい図書館をめざし、読書活動とさまざまな利用者への図書サービスの充実を図ります。	
(4)	生涯学習の推進を図り、誰もが学び続け、地域活動に参加できるような環境を整えます。	
2	現状の成果と課題	
【成果】		
(1)	学校教育と社会教育の連携・融合事業による「GUTS日吉津っ子」では、子どもたちがいきいきと育つよう、様々な体験活動等に主体的に取り組んでいます。	
(2)	計画的な読書の確保、郷土資料や行政資料などの保存、図書館の利用促進を図るイベントを3機能連携で開催し、村民の読書活動の推進に取り組んでいます。イベントの差別化を図りました。	
(3)	①フレンドリーな3機能連携により参加が増え、参加者の満足度が上がりました。読書イベント、ふれあいフェスタ、読書大会は実行委員会組織で行い、一定の専任的支援で住民主体のイベントとして運営できています。 ②学習（コミュニティセンター）グループの育成に努め、新規のグループを育成できました。 ③体験教室などは内容の工夫を行い、学習機会確保のための条件整備がなされ、村民の学習の機会が増えました。 ④社会教育では、チューリップマラソンをはじめ、各種ニュースポーツの普及など特色ある取組がなされ、村民の関心も高まりました。	
【課題】		
(1)	家庭・地域・学校がそれぞれの立場を生かした取組を展開しつつ、誰もが学び続け、地域活動に参加できるようになります。	
(2)	①小学校、保育所、児童館などの子どもの読書活動に関する機関との連携が必要となります。関係機関が子どもの読書活動を連携して進めるために、子どもの読書活動推進計画策定が必要となっています。 ②すべての人へ図書サービスを提供できるようメニューと連携を構築し提供します。	
(3)	①生涯学習の拠点であるフレンドリーな3機能の充実、既存のコミュニティセンターグループや実行委員会は会員数の減少傾向や中心メンバーの高齢化があり、会員を増やす取組や次世代のリーダー育成が必要となっています。 ②あらゆる世代の学習機会の確保が必要となります。	
3	今後の方向性	
(1)	①「日吉津の子どもは地域の宝」ととらえ、「GUTS日吉津っ子」に引き続き取り組むとともに、村民みんなで取り組むために改めてその理念や取組についての啓発を図ります。 ②令和3年度に設置される学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を中心に、「地域とともにある学校づくり」を推進します。	
(2)	①子ども読書活動推進計画を策定し、小学校や保育所、児童館など関係機関と連携しながら、村民の読書活動のさらなる推進に努め、子どもたちの本を親しむ環境づくりに努めます。 ②図書館は計画的な資料収集と更新を行い、イベント等を通じた利用促進及び高齢者や障がいのある方も含めた多様なサービスの普及、定着を図ります。	
(3)	①フレンドリーな3機能以外の農業センター、海浜運動公園、日野川河川敷運動公園などの施設も活用し、地域の教育力を拡大をめざします。 ②個人の学びに留まらず、学びの成果を生かした地域活動など社会貢献にいかにつなげるようにするが検討します。 ③既存グループに働きかけて体験教室開催等を促すなどで新規会員確保を進めます。 ④各種事業やイベントの開催について実行委員会やボランティアなど幅広い村民の参加を図ります。	

豊かな心を育み人にやさしい
図書館、情報拠点として人が
集い触れ合う図書館をめざす

生涯学習や情報共有の場、子どもたちの居場所



町民の憩いと生涯学習や情報共有の場、子どもたちの居場所としても気軽に利用できる施設を目指します

図書館の機能・役割に特徴ある記述の例から

- 自治体内の既存の図書館のイメージからの変化
 - 「市民の学習の変化を支えるだけでなく」「資料の貸し出しのみにとどまらず」「図書館に興味がなかった方たちも」
- 図書館の空間活用を期待する記述
 - 「心の安らぎ提供の場」「憩いの場」
 - 「足を運ぶ」「交流の場」「賑わいの拠点」
 - 「人が集い触れ合う」「新たな文化の創出」

研究目的

- 日本の地方自治体が図書館にどのような機能・役割を求めているか
自治体の策定する「総合計画」の分析を通して明らかにする
 - 01 | 図書館は総合計画に記述されているか
 - 02 | 多くの自治体で期待されている
図書館の機能・役割は何か
 - 03 | 機能・役割に特徴ある記述はあるか

01 | 図書館は総合計画に記述されているか

01 構成の結果から

- 30団体のうち27団体(90.0%)が総合計画に図書館の記述がある
- 基本構想に図書館の記述がある団体も6団体あった



図書館設置町村では総合計画に図書館が記述されている

02 | 多くの自治体で期待されている 図書館の機能・役割は何か

02 カテゴリ・03 図書館の記述の結果から

- 図書館の記述は多くが総合計画の「生涯学習」のカテゴリに属している
- 「教育」「子育て」のカテゴリに属している図書館の記述も多く見られた
 - 「教育」「学校」「環境」「子ども」が特徴語としてみられた
- 頻出語として「読書」「生涯学習・社会教育」がみられた



「生涯学習」「教育（特に子ども）」に寄与する機能・役割が期待される

03 | 機能・役割に特徴ある記述はあるか

03 図書館の記述の結果から

- 「憩いの場」「交流の場」「拠点」などを記述する自治体もあった
(図書館の空間の活用)
- 既存のイメージの図書館からの変化を期待する記述もみられた



自治体によって特徴がある

→ 「図書館の空間の活用」が期待されている可能性

本研究の今後の発展と課題

- 図書館設置町村について明らかにした→対象の範囲を市へも広げる
- 図書館未設置町村に記述があるか/ある場合比較を行う
- 図書館の記述でもカテゴリー化を行い全体像を明らかにする

参考文献

- 浦河町総合計画条例第4条
- 久御山町総合計画条例第3条の2
- 豊山町総合計画策定条例第2条の2
- 伊藤修一郎 「自治体総合計画と政治」 『季刊行政管理研究』 vol. 66, no. 1, 2019, p .4- 17.
- 松井望 「『基本方針による管理』と計画化：総合戦略と総合計画を事例に」 『公共政策研究』 vol.17, 2017. p .40 -51
- 岡本真 「条例からみる『図書館』」 『ライブラリー・リソース・ガイド』 vol.34, 2021.3, p. 6-29.
- 大串夏身 『まちづくりと図書館：人々が集い，活動し創造する図書館へ』 青弓社, 2021, 226p.
- 日本図書館協会図書館調査事業委員会 『日本の図書館：統計と名簿』 日本図書館協会, 2021, 517p.

本研究は，JST 次世代研究者挑戦的研究プログラムJPMJSP2124の支援を受けたものです